

第7章 青少年の意識

第7章 青少年の意識

1 青少年の意識に関する調査について

県の施策を推進し、県民の自主的活動の有効な展開を図るためには、青少年問題に関する県民の理解と市町村等関係機関の協力が必要である。

このため、県では、本県の青少年の意識の現状や将来展望・社会との関わりなどについて、青森県青少年健全育成条例に基づく青少年行政基礎調査事業の一つとして「青少年の意識に関する調査」を隔年で実施し、その結果を県民に明らかにするとともに、市町村等関係機関に情報提供している。

(1) 調査の目的

本県における青少年の意識や行動を把握し、青少年に関する施策の総合的な推進のための基礎資料を得るとともに、広く県民に紹介することにより、青少年の健全育成に対する理解と協力を得る。

(2) 調査の方法

質問紙による無記名集団調査

(3) 調査の対象

県内の小学校6年生	381人（14校）
県内の中学校2年生	384人（14校）
県内の高等学校2年生	509人（12校）
合計	1,274人（40校）

(4) 調査の実施期間

平成30年8月から平成30年9月まで

(5) 調査項目

- ア 地域のこと
- イ 学校のこと
- ウ 家族・家庭のこと
- エ 自分のこと
- オ メディア・コミュニケーションのこと
- カ 読書のこと
- キ 世の中のこと
- ク 就労に関する意識
- ケ 社会変化に対する意識

(6) 調査実施主体

青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課

(7) 調査の監修及び調査結果の分析

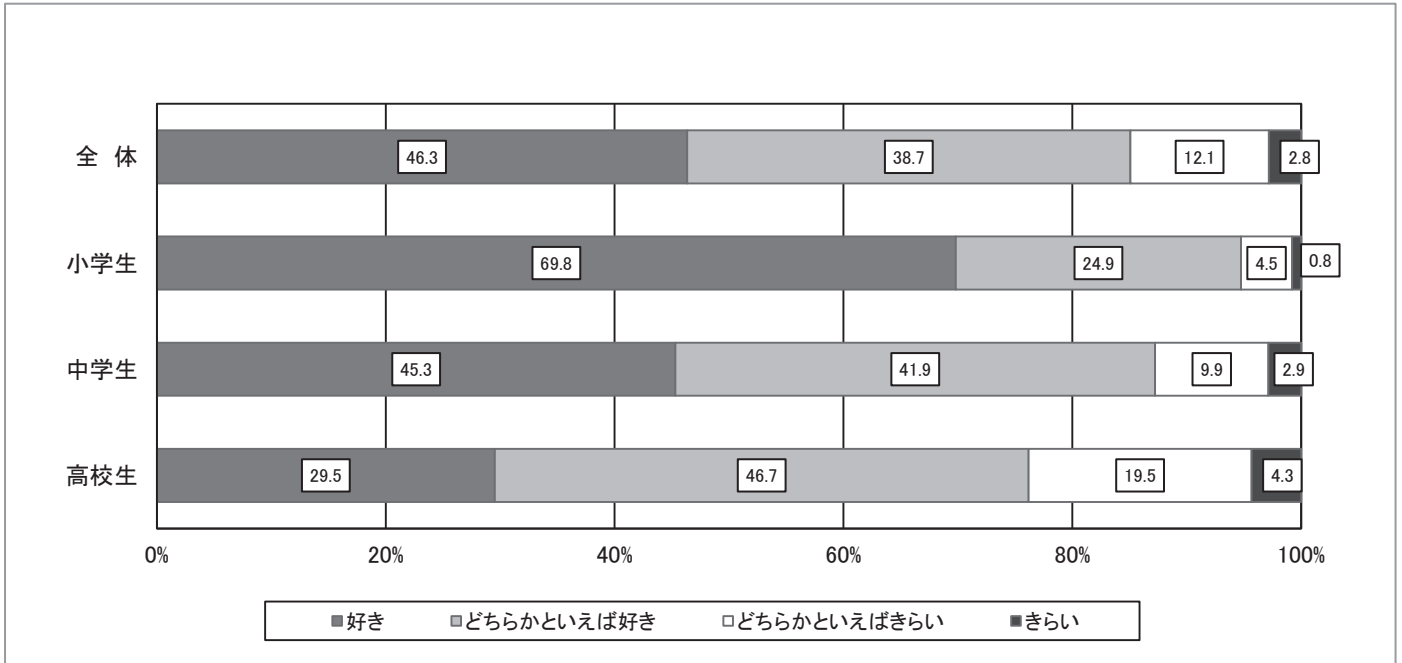
弘前大学教育学部 教授 田名場 忍 氏

2 結果概要

(1) 地域のこと

自分が住んでいる地域が好きかどうか尋ねたところ、全体では、85.0%が「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。

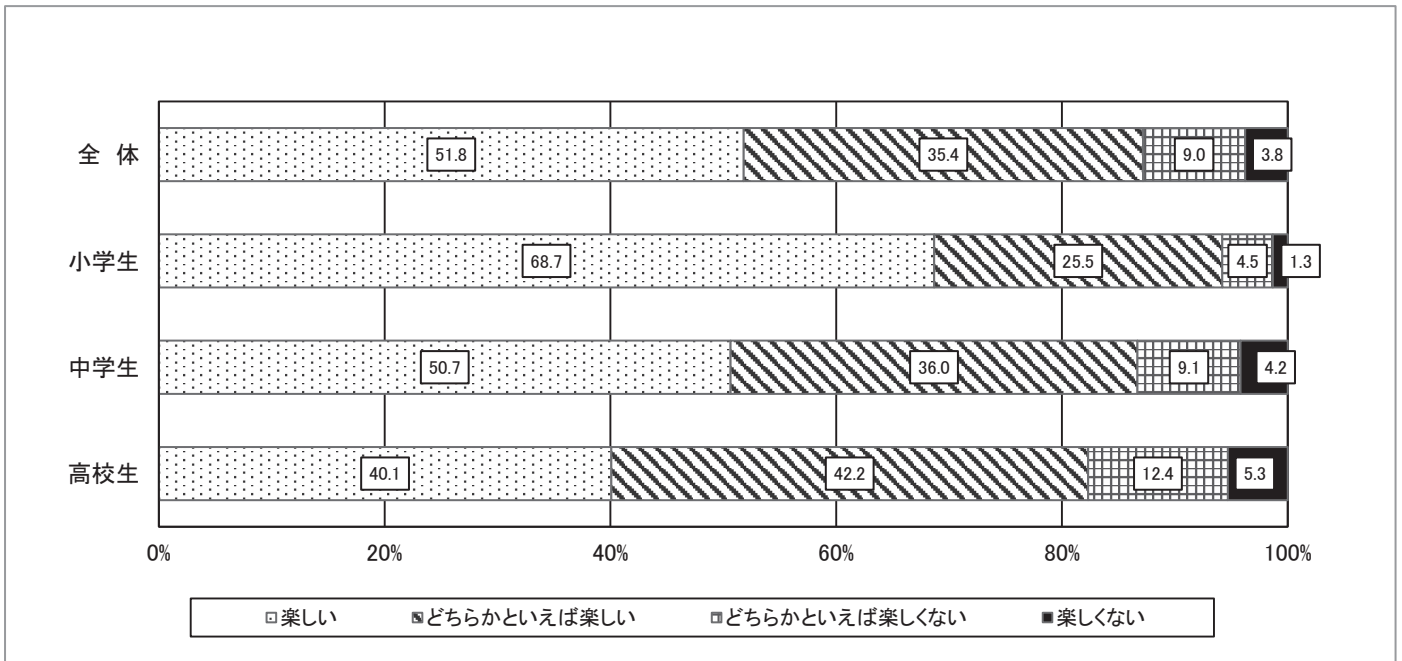
第1-7-1表 住んでいる地域への評価



(2) 学校のこと

学校生活が楽しいかどうか尋ねたところ、全体では、87.2%が「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答している。

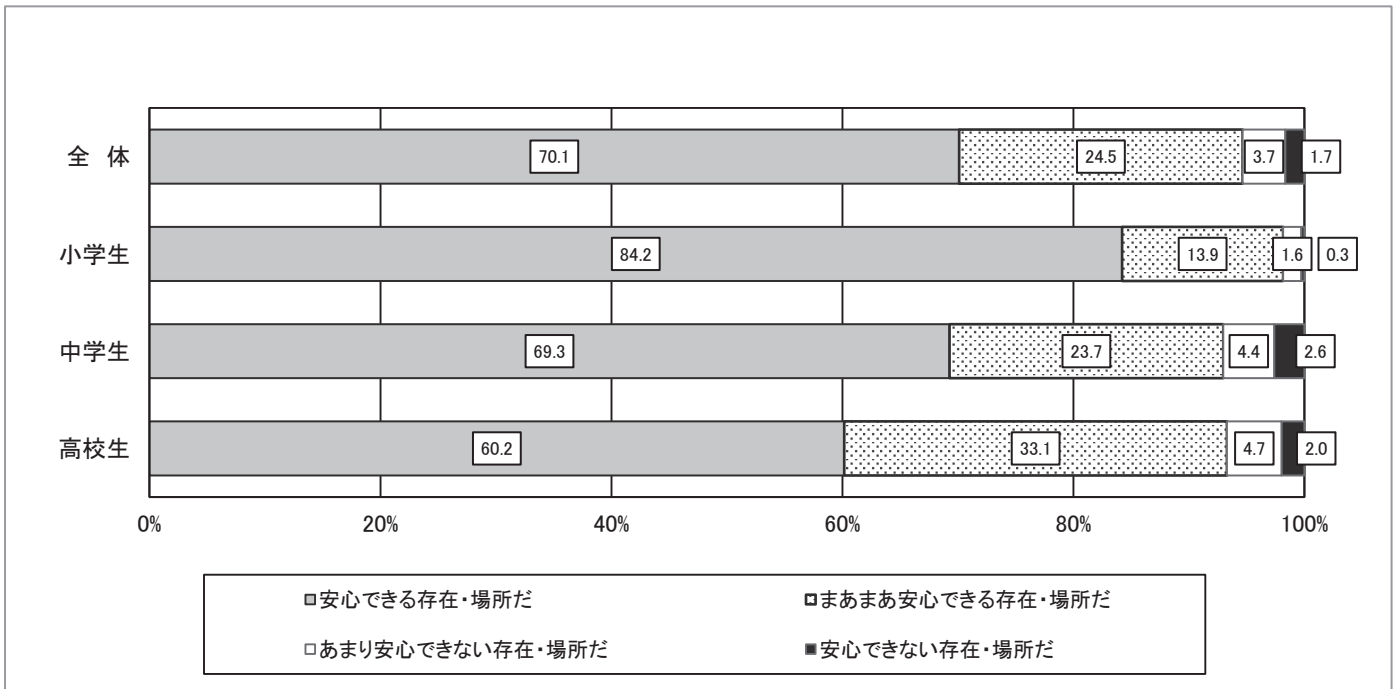
第1-7-2表 学校生活への満足度



(3) 家族・家庭のこと

家族・家庭が安心できる存在・場所かどうか尋ねたところ、全体では、94.6%が「安心できる存在・場所だ」「まあまあ安心できる存在・場所だ」と回答している。

第1-7-3表 家族・家庭への評価

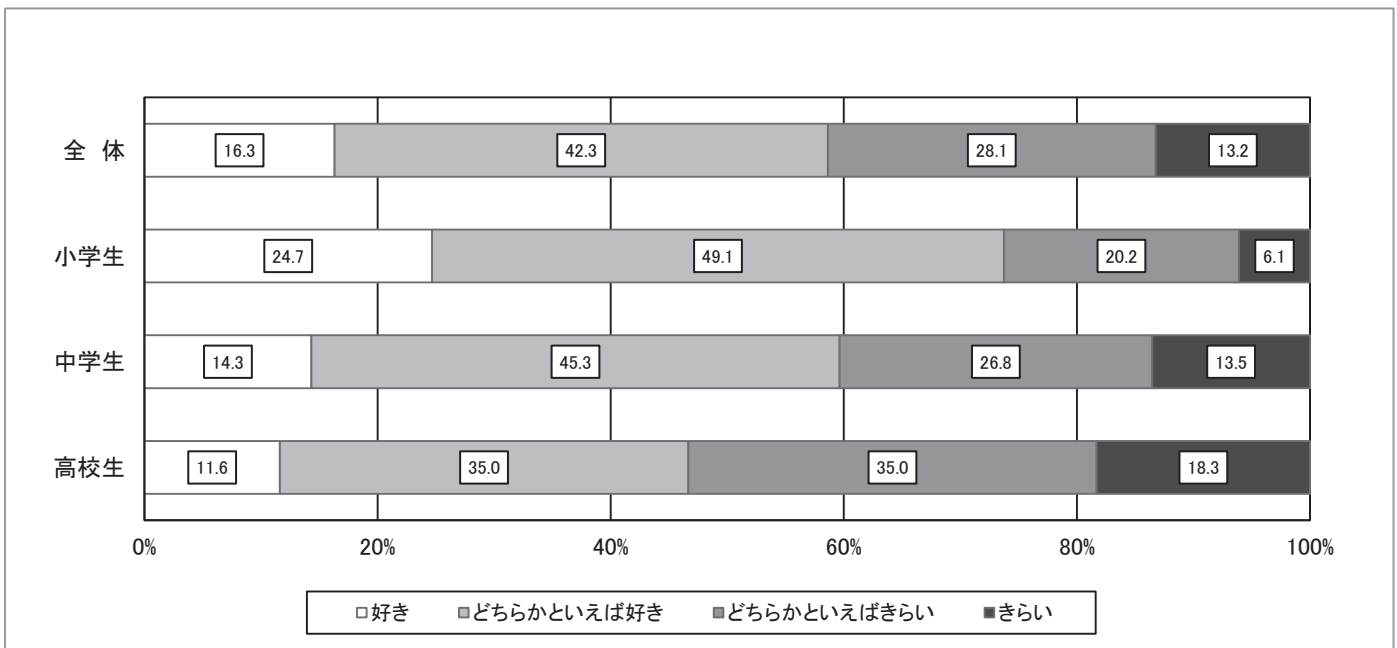


(4) 自分のこと

ア 自己への評価

自分のことが好きかどうか尋ねたところ、全体では、58.6%が自分のことを「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。また、「好き」と回答した割合は、小学生、中学生、高校生と、成長するにつれて低下している。

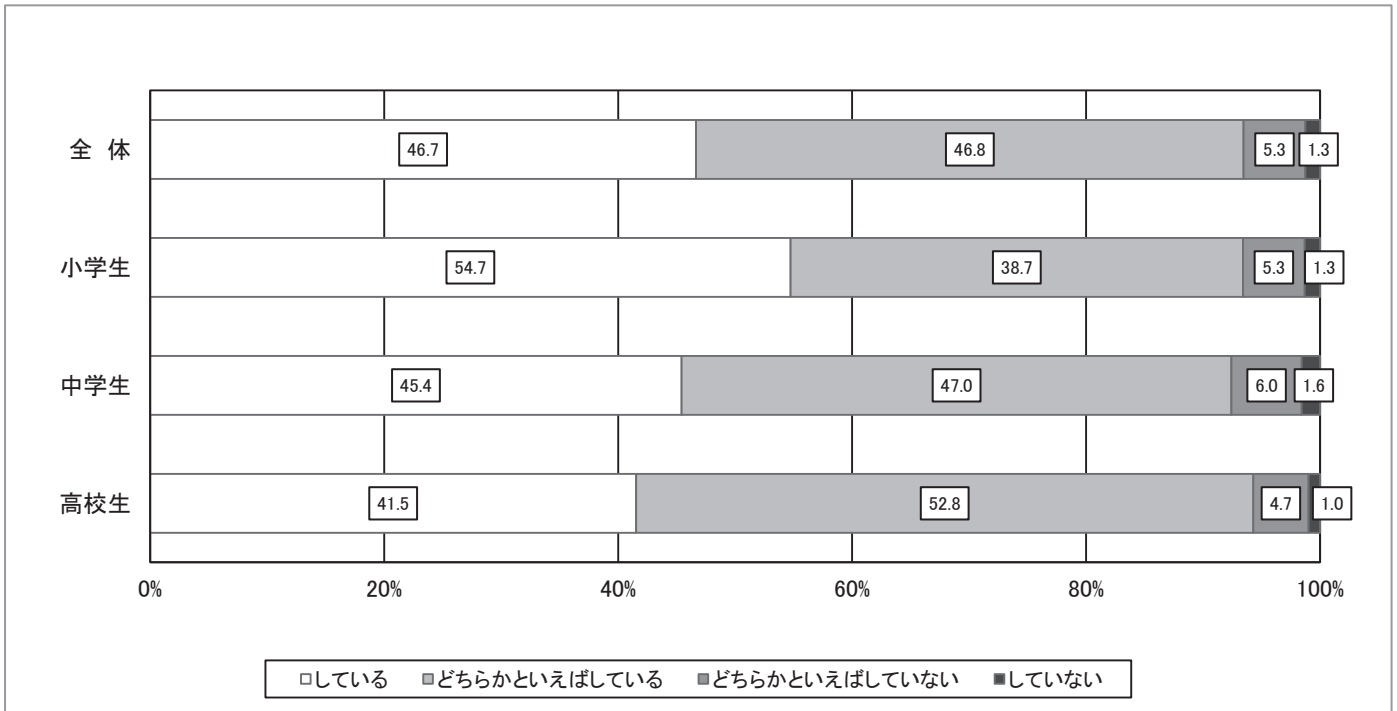
第1-7-4表 自己への評価



イ 他人への思いやり

他人に対して思いやりをもって接するように心がけているかどうかを尋ねたところ、全体では、93.5%が「している」「どちらかといえばしている」と回答している。

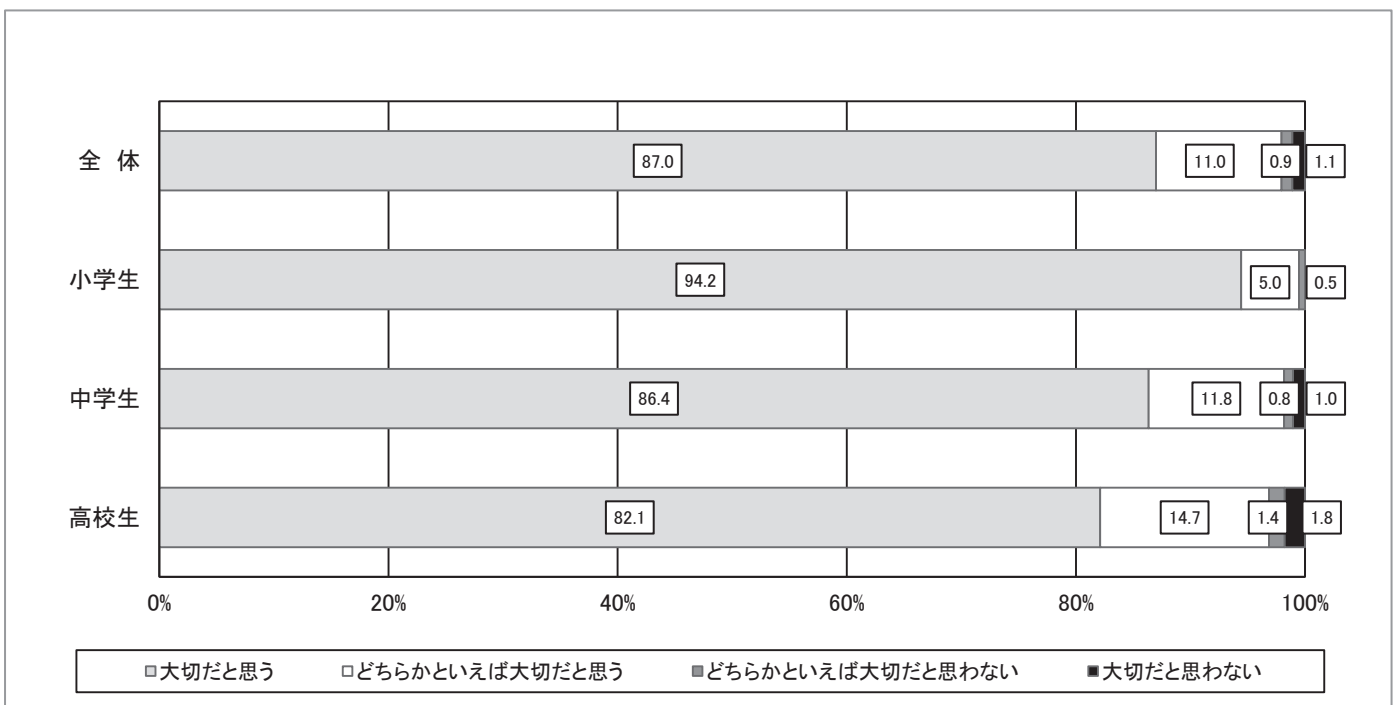
第1-7-5表 他人への思いやり



ウ 命について

自分や他人の命をどう思うかについて尋ねたところ、全体では、98.0%が「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と回答している。

第1-7-6表 命について



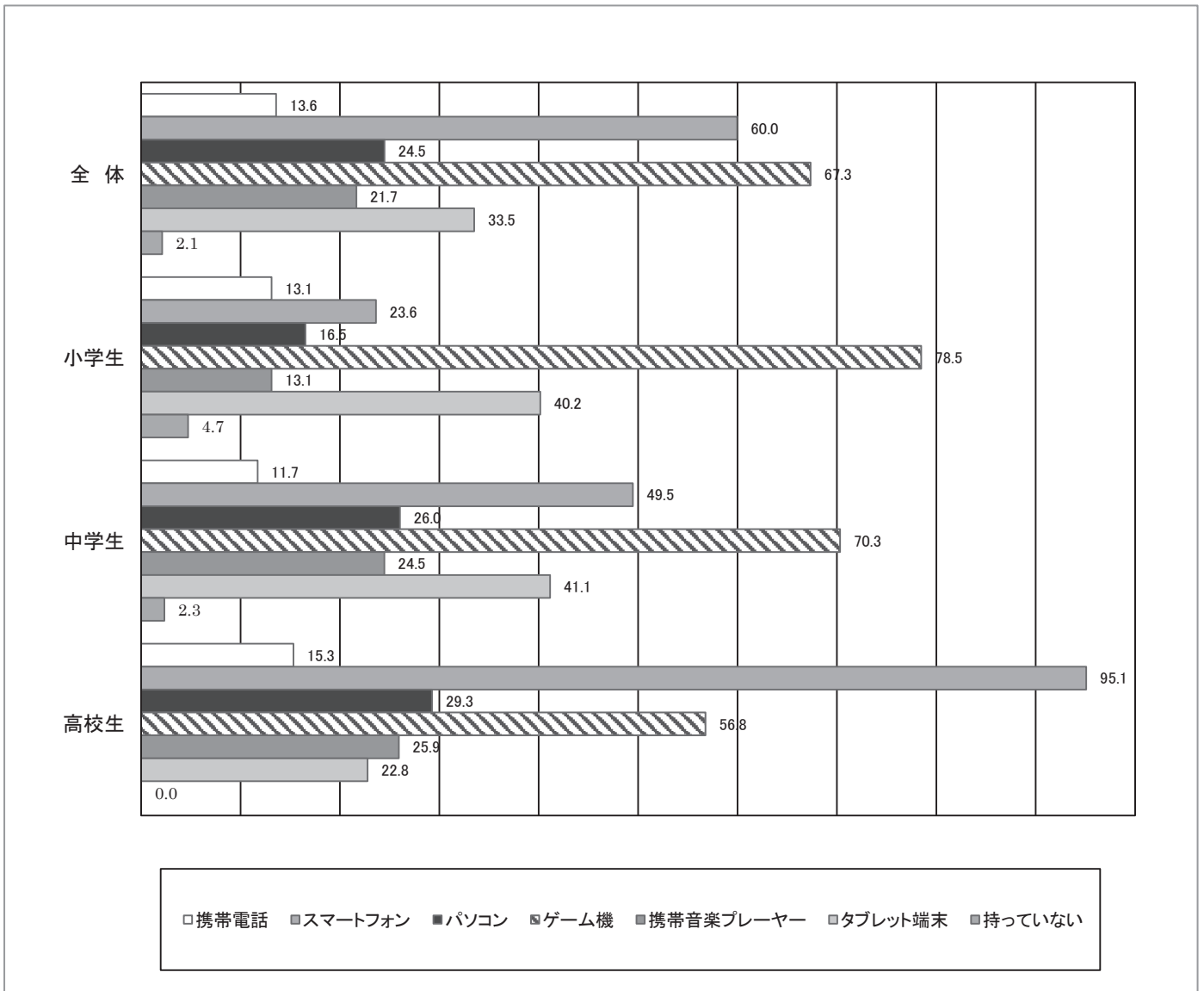
(5) メディア・コミュニケーションのこと

ア インターネットにつながる機器の所有状況

インターネットにつながる機器（携帯電話・スマートフォン・パソコン・ゲーム機・携帯音楽プレーヤー・タブレット端末）を自分専用で持っている又は自分が自由に使えるものがあると回答している割合は、小学生では95.3%、中学生では97.7%、高校生では100%となっている。

現在、自分専用で持っている又は自分が自由に使えるものでは、「ゲーム機」が67.3%で最も高く、以下、「スマートフォン」(60.0%)、「タブレット端末」(33.5%)となっている。

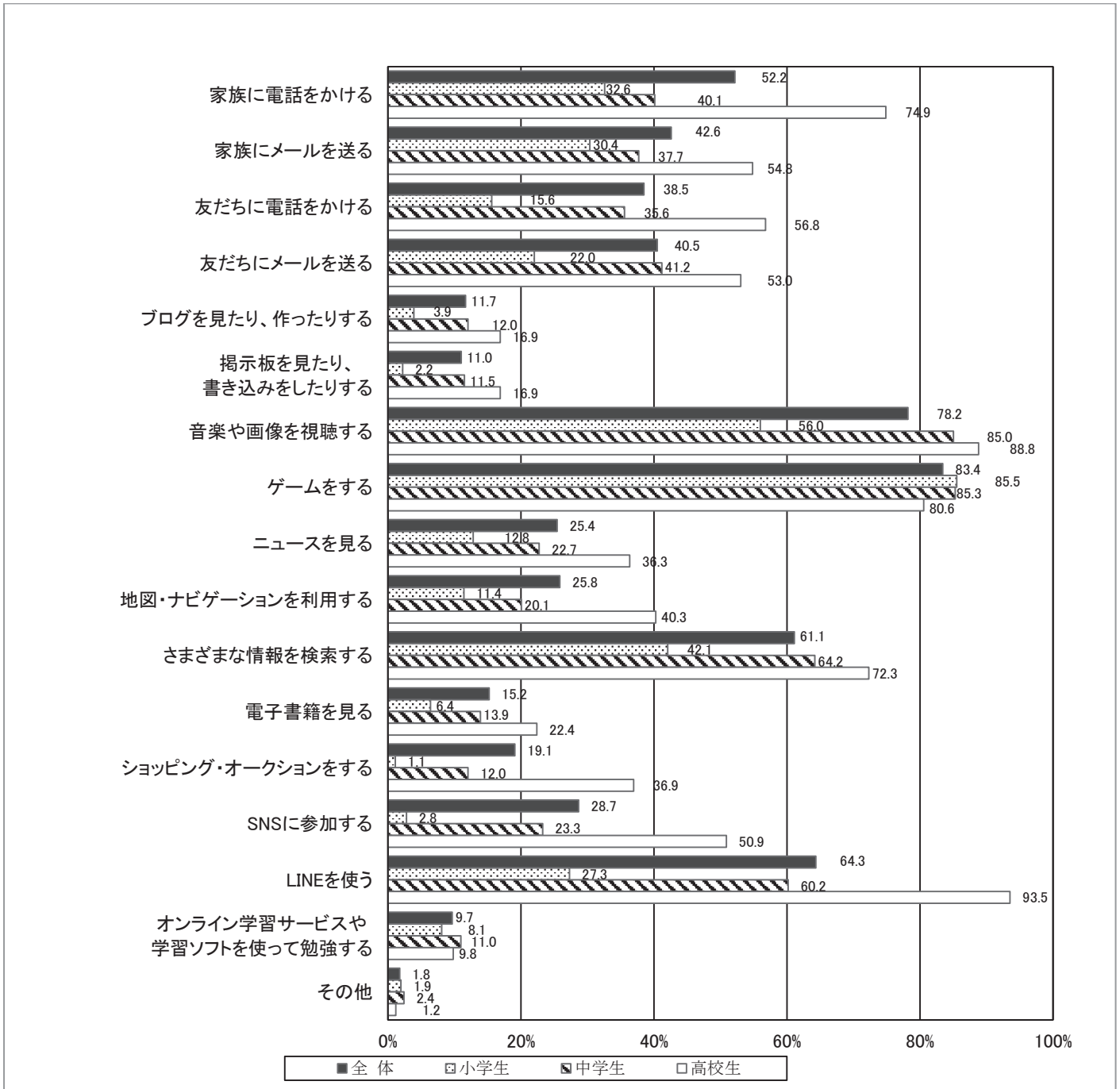
第1-7-7表 インターネットにつながる機器の所有状況



イ インターネットにつながる機器の使用目的

インターネットにつながる機器の使用目的を尋ねたところ、「ゲームをする」が83.4%で最も高く、以下、「音楽や画像を視聴する」が78.2%、「LINEを使う」が64.3%などとなっている。

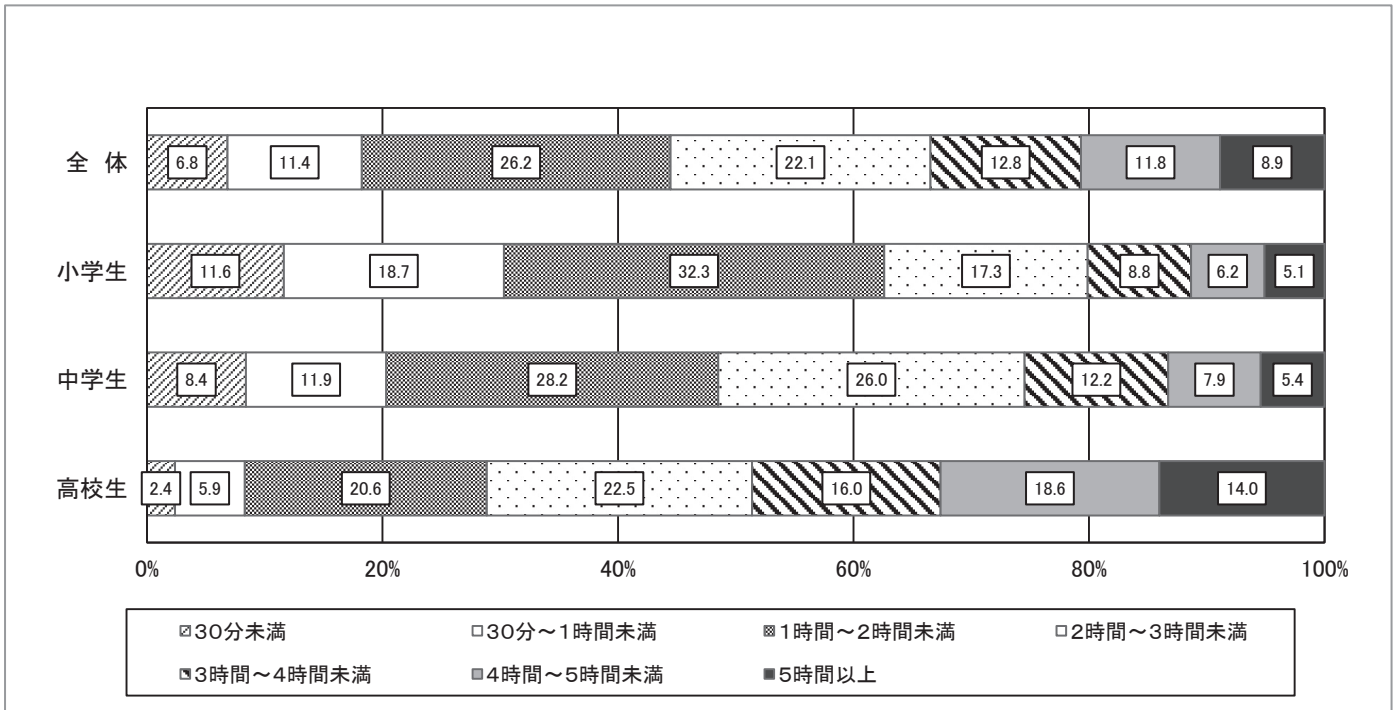
第1-7-8表 インターネットにつながる機器の使用目的



ウ 使用時間

インターネットにつながる機器の1日の使用時間を尋ねたところ、小学生の69.7%が1時間以上、中学生の51.5%が2時間以上、高校生の48.6%が3時間以上となっている。また、全体の8.9%が5時間以上使用していると回答している。

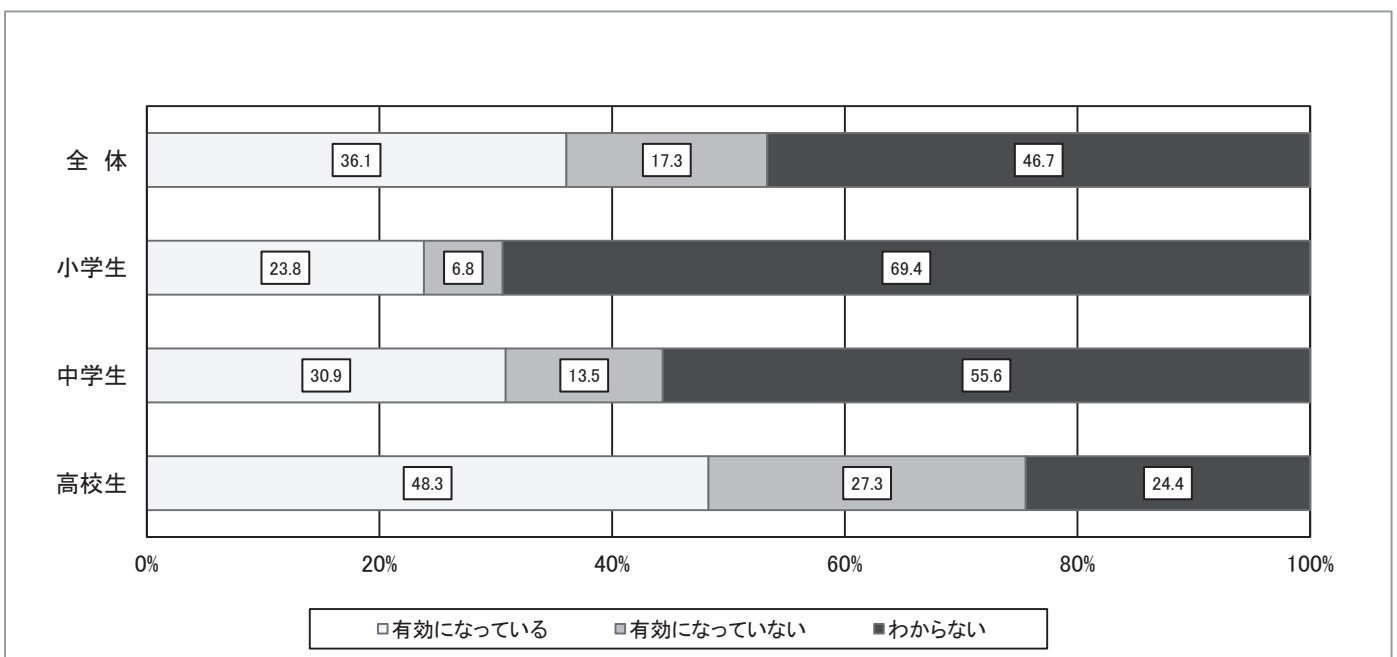
第1-7-9表 使用時間



エ フィルタリング機能の利用状況

インターネットにつながる機器のフィルタリング機能について、全体では、「有効になっている」が36.1%であり、「有効になっていない」が17.3%、「わからない」が46.7%となっている。

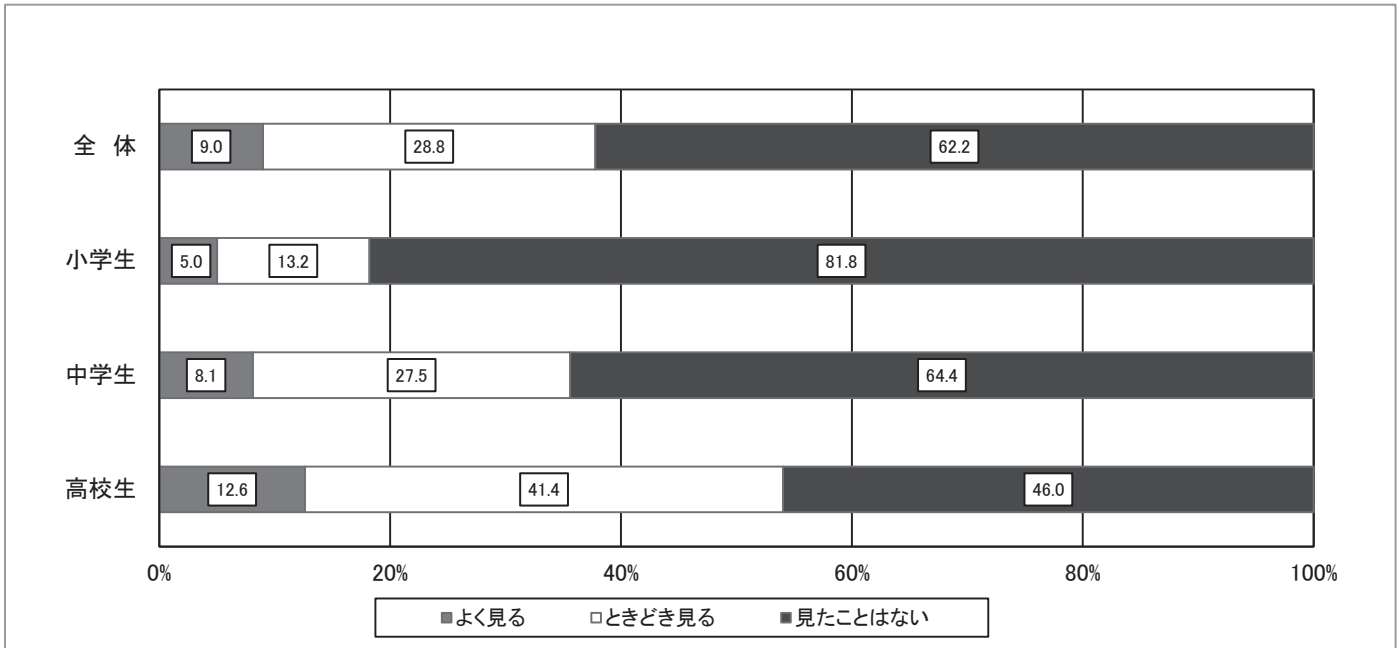
第1-7-10表 フィルタリング機能の利用状況



オ 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況

インターネットにつながる機器で悪口やいじめにつながる書き込みを見たことがあるかどうか尋ねたところ、全体では、37.8%が「よく見る」「ときどき見る」と回答している。

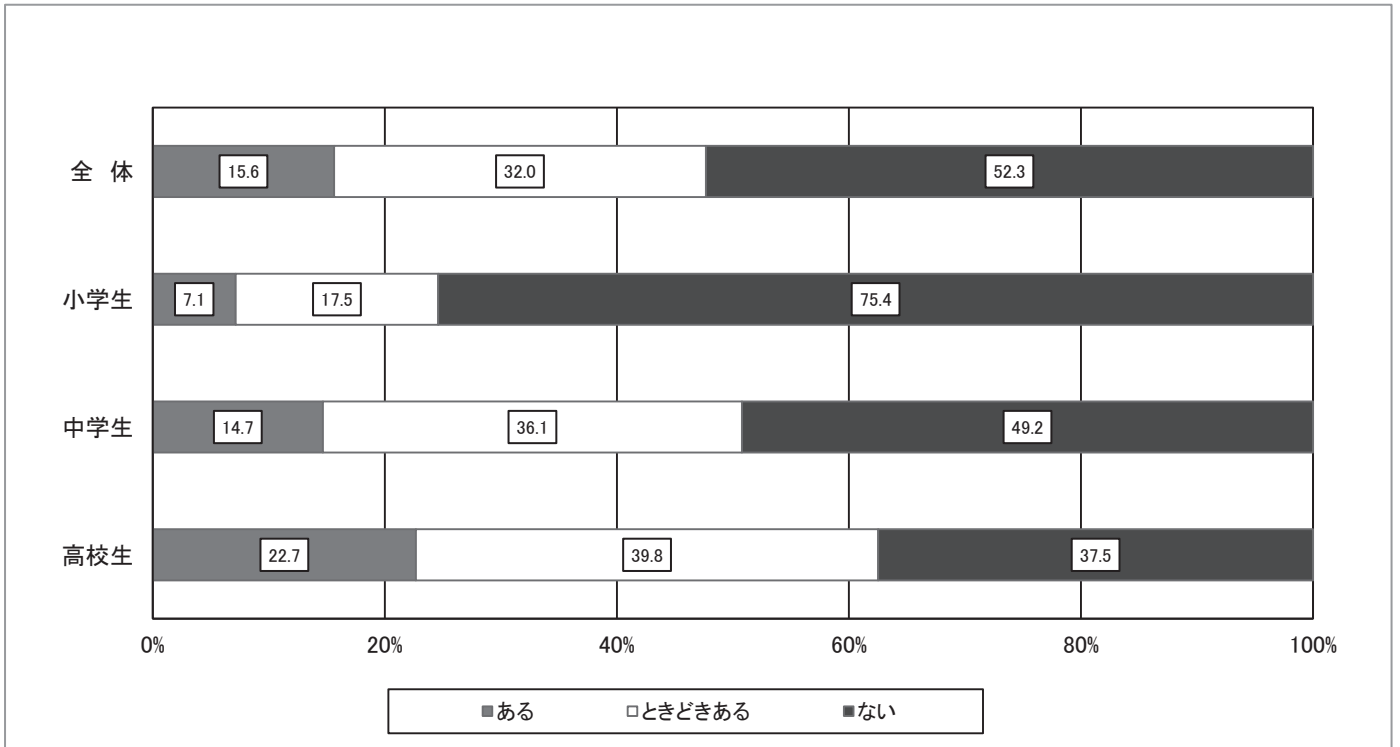
第1-7-11表 悪口やいじめにつながる書き込みへの認知状況



カ 睡眠不足などの影響

インターネットにつながる機器にのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったりしたことがあるか尋ねたところ、全体では、47.6%が「ある」「ときどきある」と回答している。

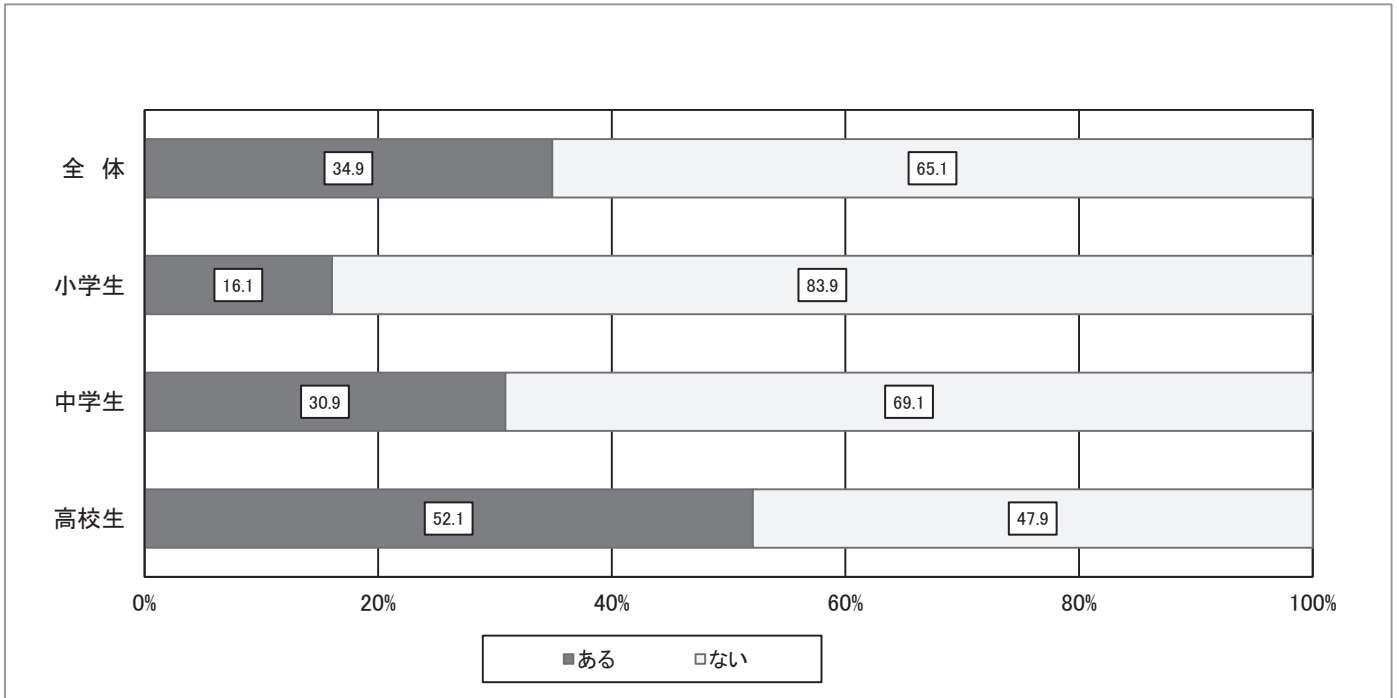
第1-7-12表 睡眠不足などの影響



キ インターネットで知り合った人とのメールなどのやりとり

インターネットで知り合った人と電話やメールなどのやりとりをしたことがあるか尋ねたところ、全体では34.9%が「ある」と回答している。また、高校生では52.1%が「ある」と回答している。

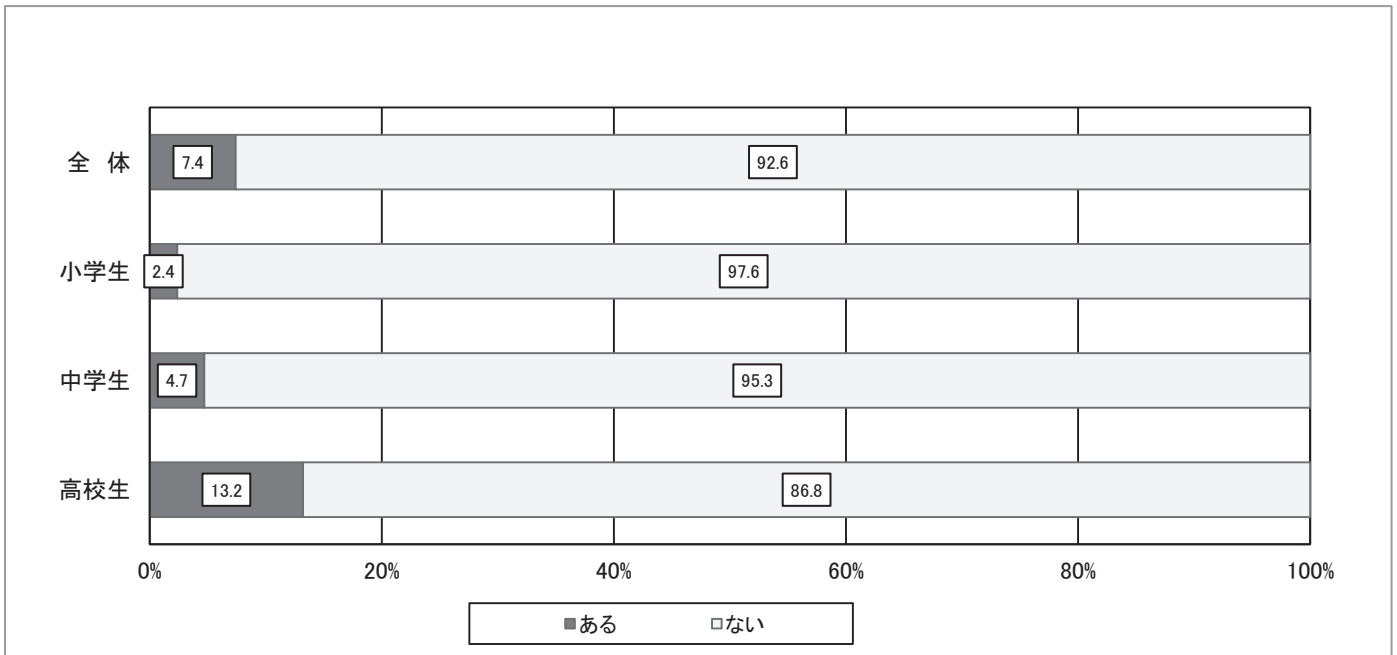
第1-7-13表 インターネットで知り合った人とのメール等のやりとり



ク インターネットで知り合った人と実際に会う

インターネットで知り合った人と実際に会ったことがあるか尋ねたところ、全体では7.4%が「ある」と回答している。また、高校生では13.2%が「ある」と回答している。

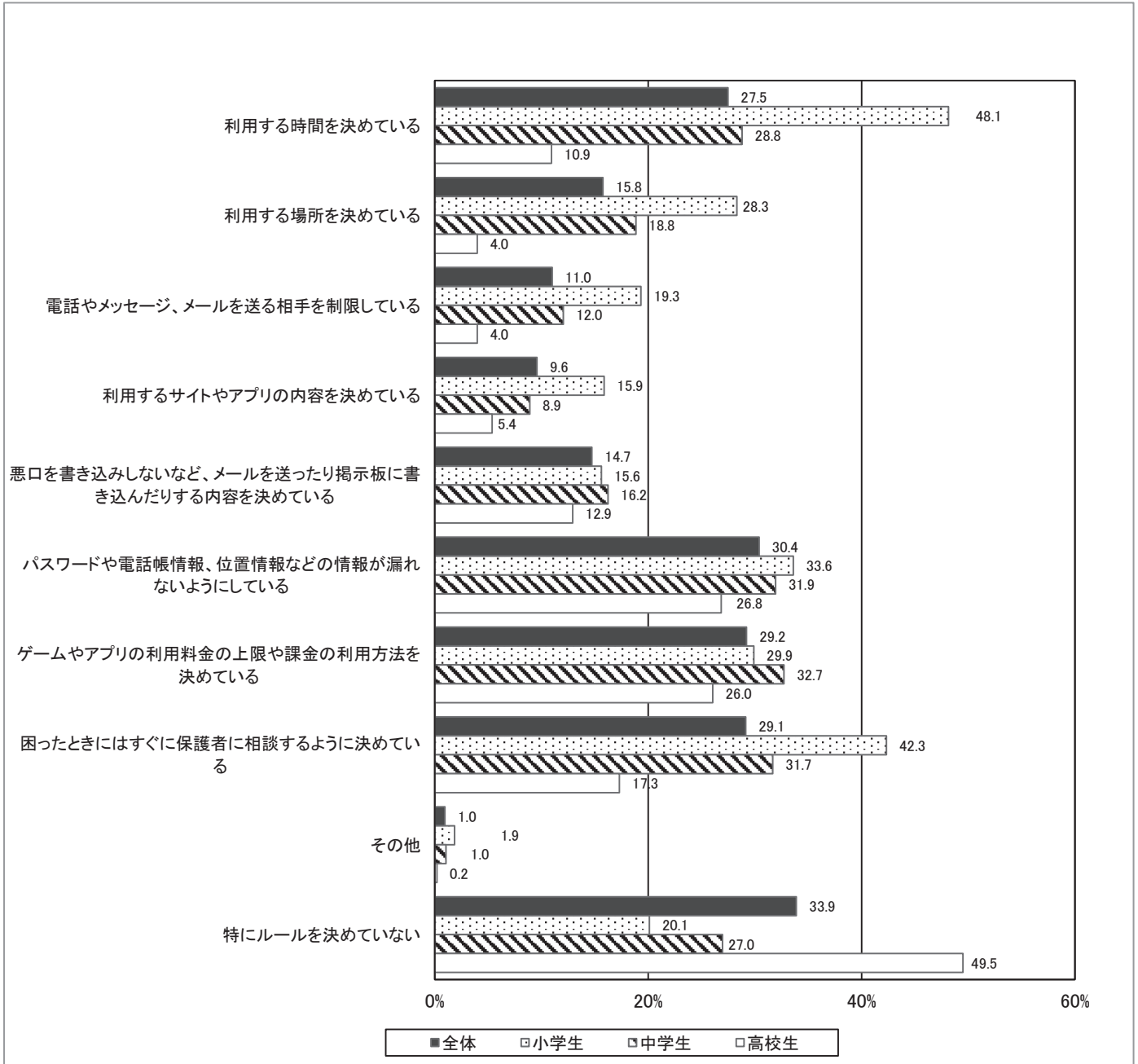
第1-7-14表 インターネットで知り合った人と実際に会う



ケ 家庭での使い方ルール

インターネットにつながる機器の家庭における使い方のルールを尋ねたところ、全体では33.9%、小学生では20.1%、中学生では27.0%、高校生では49.5%が「特にルールを決めていない」と回答している。

第1-7-15表 家庭での使い方ルール

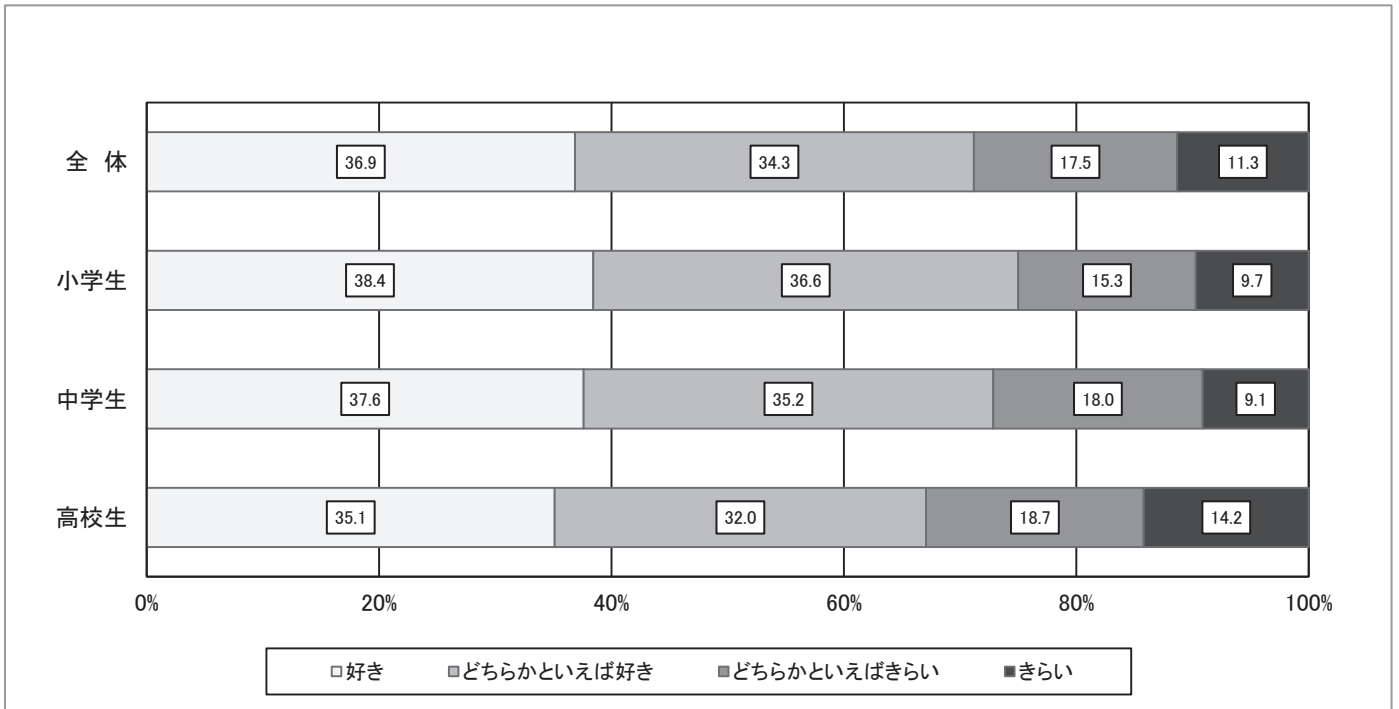


(6) 読書のこと

ア 読書への評価

読書が好きかどうか尋ねたところ、全体では71.2%が「好き」「どちらかといえば好き」と回答している。

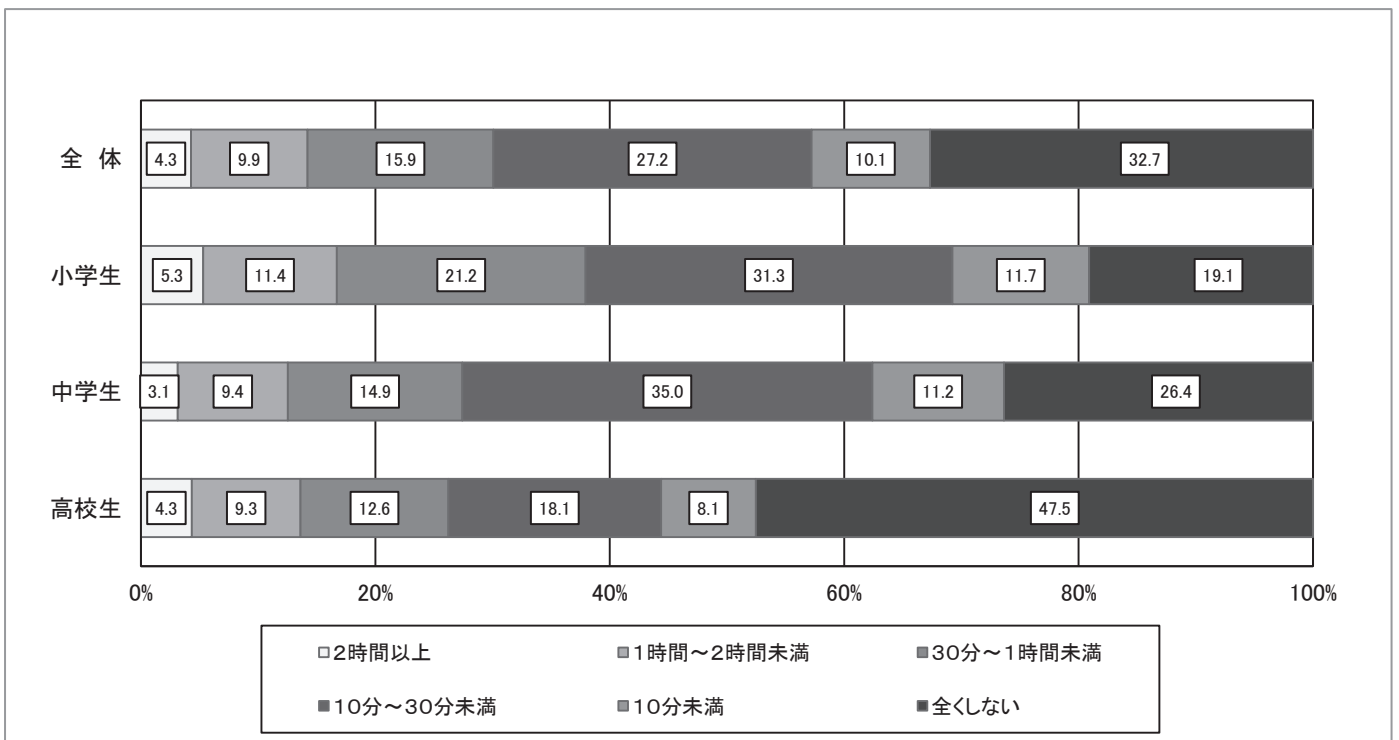
第1-7-16表 読書への評価



イ 1日の読書時間

1日の読書時間を尋ねたところ、全体では、「1時間以上読書をしている」は14.2%で、32.7%は「全くしない」と回答している。また、高校生では、「全くしない」が47.5%となっている。

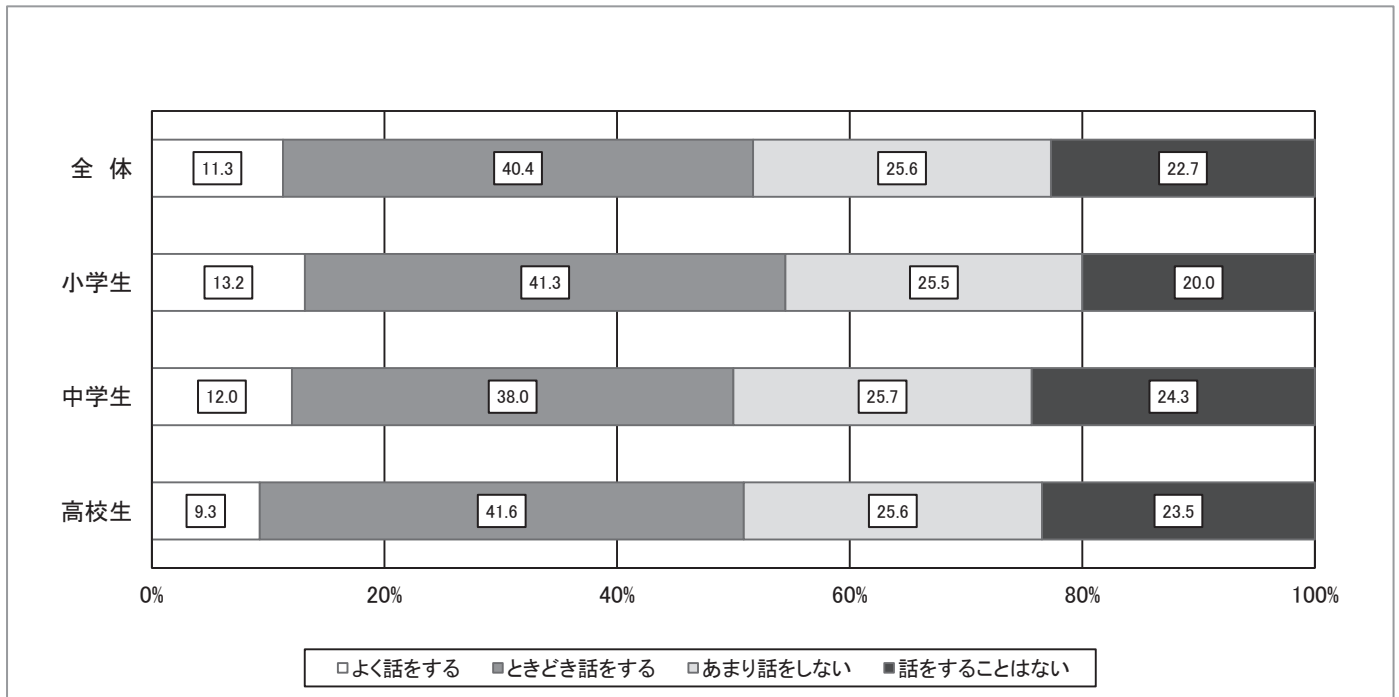
第1-7-17表 1日の読書時間



(7) 世の中のこと

政治問題や社会的事件について家族や友だちなどと話をするか尋ねたところ、全体では、51.7%が「話をする」と回答している。

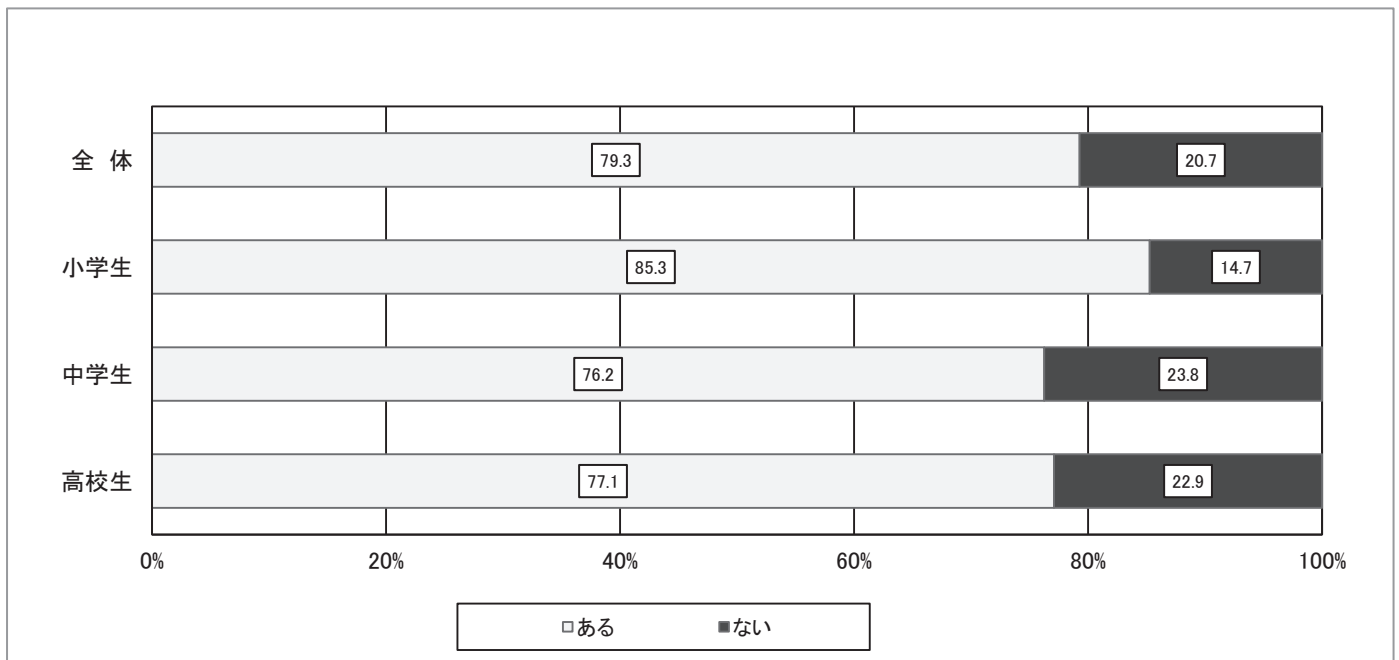
第1-7-18表 世の中の出来事についての会話



(8) 就労に関する意識

将来したい仕事やつきたい職業があるかどうか尋ねたところ、全体では79.3%が「ある」と回答している。

第1-7-19表 将来の就労意識

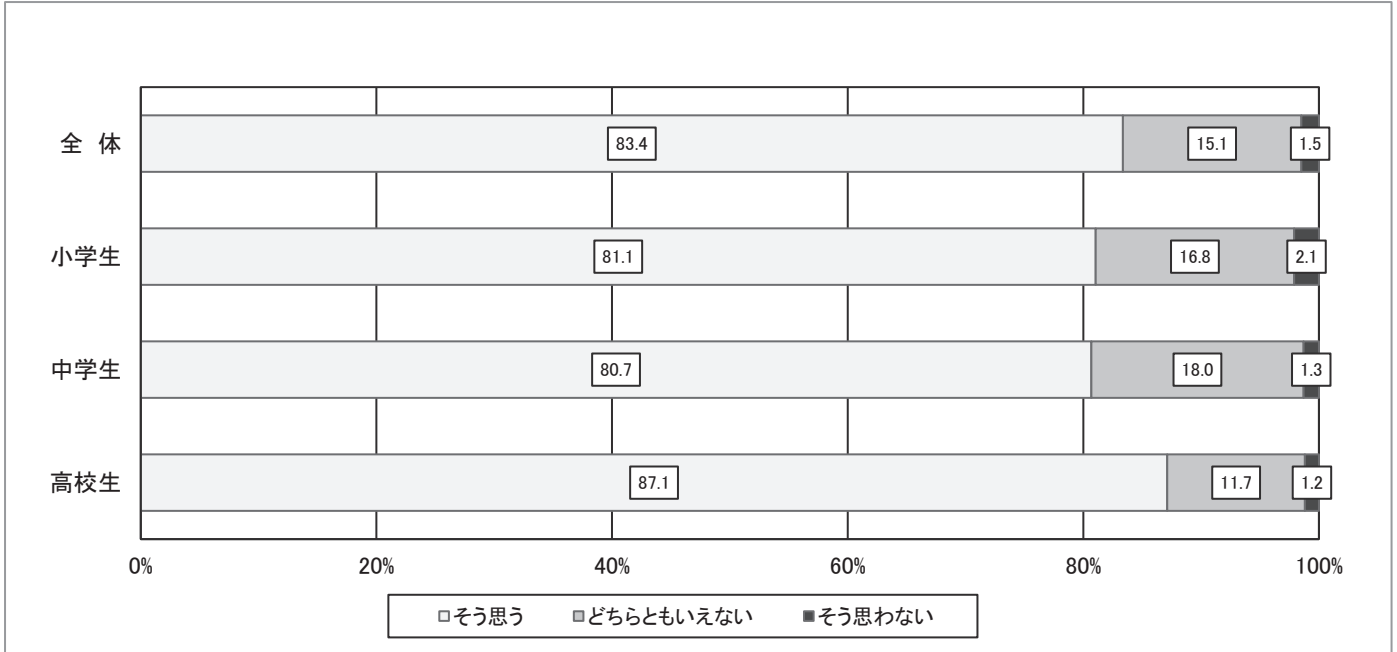


(9) 社会変化に対する意識

ア 社会変化に対する意識（男性でも女性でも、家事や育児や介護をするべきだと思う）

男の人も女の人も同じように、家事や育児や介護をするべきかどうか尋ねたところ、全体では、83.4%が「そう思う」と回答している。

第1-7-20表 社会変化に対する意識（男性でも女性でも、家事や育児や介護をするべきだと思う）



イ 社会変化に対する意識（いま住んでいる地域に将来も住み続けるべきだと思う）

いま住んでいる地域に将来も住み続けるべきかどうか尋ねたところ、全体では17.8%が「そう思う」、57.9%が「どちらともいえない」、24.3%が「そう思わない」と回答している。

第1-7-21表 社会変化に対する意識（いま住んでいる地域に将来も住み続けるべきだと思う）

